



日本植物分類学会

ニュースレター

No. 14

Aug. 2004

目 次

| | |
|--|----|
| 会長および評議員選挙公示 | 2 |
| 諸報告 | |
| アジアの植物多様性と分類に関する国際シンポジウム開かれる..... | 3 |
| 日本植物分類学会第3回大会報告..... | 4 |
| 2004年自然史学会連合第2回運営委員会議事録 | 5 |
| 学会からのお知らせ | |
| 日本植物分類学会第4回大会(2005年)のお知らせ | 6 |
| 平成16(2004)年度日本植物分類学会講演会のお知らせ | 7 |
| 第5回大会開催地の募集 | 8 |
| 平成16(2004)年度野外研修会のお知らせ | 8 |
| 第4回(平成17年)日本植物分類学会賞受賞候補者の募集..... | 9 |
| 国際植物命名規約(セントルイス規約)2000日本語版の訂正(II)..... | 10 |
| 会費納入と自動振替利用のお願い..... | 11 |
| 連絡員からときどき便り | |
| シダ便り・2・ | 12 |
| 花畑はつづくよどこまでも..... | 13 |
| 日本植物分類学会選挙人名簿..... | 14 |
| 会員消息..... | 24 |

会長および評議員選挙公示

選挙管理委員長 樋口正信

2003-2004年度の役員の任期が2004年12月末をもって満了となりますので、日本植物分類学会会則12条及び役員等の選出についての細則に従い、2005-2006年度を任期とする会長・評議員の選挙を下記の要領で行います。会長選挙投票用紙（青色）、評議員選挙投票用紙（桃色）、返送用封筒をニュースレター本号に同封します。言うまでもなく会長をはじめとする役員は会員の総意をまとめ、学会の運営、活動の舵取り役となります。投票締め切りは、2004年9月30日（木）です。大事な選挙への投票をよろしくお願いいたします。

なお、会則第13条の3で定められている、役員の在任期間に関する制限が適用される方は以下の通りです。これらの方には被選挙権はありませんので、投票されても無効になりますのでご注意ください。

会長の被選挙権なし：加藤雅啓

評議員の被選挙権なし：伊藤元己、角野康郎、北川尚史、田村実、永益英敏、
西田治文、原田浩、邑田仁（アイウエオ順）

選挙実施細目

1. ニュースレターに綴じこまれている選挙人名簿をご覧になり、同封の会長選挙投票用紙（青色）に会長候補者1名を、評議員選挙投票用紙（桃色）に評議員候補者8名以内をそれぞれ記入してください。
2. 記入後、投票用紙を二つに折り、同封の封筒に入れて郵送してください。封筒には、住所・氏名を必ず記入してください。
3. 封筒が同封されていないか、あるいは紛失した場合には、「会長・評議員選挙投票用紙在中」と朱書きした任意の封筒で郵送してください。なお、投票用紙の再発行はいたしません。
4. 投票締め切り 2004年9月30日（木）（当日消印有効）
5. 開票日時場所 2004年10月9日（土）午後1時・国立科学博物館植物研究部棟（つくば市）
会員2名以上の立ち会いのもとに開票します。会員は開票に立ち会うことができます。立ち会いを希望される場合は、なるべく選挙管理委員長までご連絡ください。
6. 規定の数を超えて候補者名を書かれた場合、その票は無効になります。また、会員以外の方の名を書かれた場合は、会員以外の方の部分のみが無効となります。
7. 同姓、あるいはよく似た名前の会員がおられますので、投票に当たってはニュースレター今号の選挙人名簿をご参照のうえ、氏名を略さずにお書きください。

投票用紙送付先・連絡先

〒305-0005 つくば市天久保4-1-1
国立科学博物館植物研究部
日本植物分類学会選挙管理委員長 樋口正信
TEL: 029-853-8974 FAX: 029-853-8401
e-mail: higuchi@kahaku.go.jp

諸報告

アジアの植物多様性と分類に関する国際シンポジウム開かれる

会長 加藤雅啓

7月29日から8月1日までの4日間、国立歴史民族博物館（以下歴博と略称、千葉県佐倉市）で予定通り、シンポジウムが開かれた。参加者は当日参加を合わせて15カ国176名であった。1日目（29日）は午後から公開シンポジウム「海を渡った華花」が開かれ、4講演があった。これは、歴博が7月13日から9月12日まで催している特別展示「海を渡った華花」の一環として企画されたものである。夕方にはミキサーが歴博の休憩所で開かれ、約70名がビールを片手に親睦を深めた。2日目（30日）は開会式（岩槻邦男組織委員長の開会のあいさつ）のあと、開会シンポジウムでは孫革、長谷部光泰、Tod Stuessyの発表があり、続いてポスター発表（海外24件、国内55（内、留学6）件の計79件）が午後まであった。その後、生物地理に関するシンポジウム1が開かれて、夜はシンポジウムパーティが催された。会場はプレハブの建物であったが、使用料がタダなので贅沢なことはいえず、そのかわりおいしい料理（生ビールも）がいろいろとあって、参加者（約130名）一同語り合いながら舌鼓をうち、大いに満足した。また、国際植物分類学会、日本植物分類学会、日本藻類学会、日本種生物学会のポスター賞受賞者が計4名発表され、喝采を浴びるハイライトとなった。3日目（31日）の午前は多様性と植物相についてのシンポジウム2、午後は分子系統に関するシンポジウム3、4日目（8月1日）は生物多様性情報と、種の概念についてのシンポジウム3、4が開かれた。5シンポジウムで計27の発表（海外13名、国内14名）があった。いずれのシンポジウムも活発に質疑応答があり時間に追われたが、座長がうまく会を進行させていただいた。シンポジウムに引き続いて、閉会式ではポスター賞授賞式が執り行われ、閉会の辞のあと閉幕となった。8月2日はシンポジウムエキスカージョンとして日光方面へのバスツアーがあり、参加者46名が世界遺産日光東照宮と東京大学日光植物園を訪れた。このシンポジウムには旭硝子、ちば国際コンベンションビューロー、花博記念協会、井上科学振興財団、麒麟ビール、日宝化学、内藤財団、植物科学基金などから助成、寄付をいただいた。また、エキスカージョンでは日光植物園の方々にお世話になった。ここに厚くお礼申し上げる。

日本植物分類学会第3回大会報告

第3回大会準備委員長 出口博則

第3回大会を2004年3月13日から15日、東広島市の広島大学理学部で開催いたしました。2002年10月末、2004年7月末に分類学会と国際植物分類学会連合IAPTなど共催の国際シンポジウム『アジアの植物多様性と分類』が千葉県佐倉市で開かれる関係で、第3回大会は西日本で開くのが理想的との判断から、広島での大会開催の打診を受けました。3月は入試時期にあたり、非常に微妙な日程、時間の遣り繰りが要求され、開催日時の決定には勇気が要りました。引き受けにあたって、公開シンポジウムの企画を何にするかということで頭を悩ませましたが、せっかくの機会ですので、伝統的にコケの研究やっている広島のPRを兼ねて、『植物の陸上化への歩み その足どりを探る』というテーマを設定し、藻、コケ、シダの分野から、また、形態、生理、分子生物学の立場から探ってみようということで5名の先生方にご講演をお願いしました。お引き受けしてからは、学内外の先生方のご協力ですこぶる順調に準備にかかることができました。昨年の神戸大会にならって、大会ホームページを開設しました。アクセスは、大会当日までに約2,000件ありました。プログラムや案内の閲覧およびそれらのpdfファイルのダウンロードができるものにしました。また、連絡用にはじめてメーリングリストを開設し、いくつかの緊急連絡に使いました。これは今後恒常的に学会事務局で開設されていると便利なものと思いました。今回の大会参加者は190名(一般120名、学生70名)でした。発表総数は71件で、口頭発表が28件、展示発表が43件でした。公開シンポジウムの参加者は108名でしたが、肝心の一般の参加者が19名にとどまってしまい、宣伝不足が原因ではないかと反省しています。口頭による発表媒体としてデジタルプロジェクタとOHP、35mmスライドを設定しましたが、35mmスライドは発表全体を通じて1件だけでした。ポスター発表は理学部大会議室で行われました。当初3グループに分けて集中発表・討論をする予定でしたが、発表に入ると次第に質疑応答に熱が入り、グループ分けがなし崩し的に崩壊してしまいました。勢いのある学会の雰囲気如実に現れていて、一部の方には混乱を招きご迷惑をおかけしましたが、活気あふれる好ましい景色が展開していました。懇親会は中国・四国地方の銘酒を準備して、大学生協の食堂で開催し、148名(一般86名、学生62名)の参加者を得ることができました。昨年の神戸大会に端を発し、植物分類学会大会酒どころめぐりを無事引きあげたと思っています。大会のお世話をして一番気になるのが参加者と発表数ですが、昨年と同程度となりました。忙しい時期にもかかわらずご参加くださった会員の皆様に盛り上げていただいたことを心より感謝いたします。また、開催にあたり、広島大学大学院理学研究科ならびに企業各社よりご支援を賜りました。最後に、準備委員としてご尽力いただいた先生方、特に趣きある重厚な公開シンポジウムの準備とポスターの作製をいただいた井鷲祐司先生、プログラムの編成をお願いした近藤勝彦先生、ホームページ・メーリングリストの開設ならびにパワーポイントによる発表のための整備に坪田博美先生と有川智己先生にお世話

になりました。大会開催の一番要ともいうべき会計と庶務、広報のハードで長期にわたるきつい役割を山口富美夫先生に任せてしまいました。懇親会の清酒の大部分は佐藤敏生先生のご尽力によるものでした。さらに広大の植物生物学講座の学生さんの協力は大きなものでありました。ここにお世話になりましたみなさんに感謝の意を表します。

2004年自然史学会連合第2回運営委員会議事録

自然史学会連合担当委員 西田治文

表記委員会が2004年6月2日(水)に国立科学博物館分館で開催されましたので報告いたします。

報告事項

- 1) 森脇前代表との会談について(鎮西): 連合の理念と活動の柱(自然史の「面白さ」の社会へのアピール、日本学術会議とのパイプの重要性、加盟学協会との連携)について意見交換をおこなった。
- 2) 加盟学協会の会員数調査と博物館関係ネットワークの情報収集の進捗状況について(篠原)。
- 3) 今年度連合主催シンポジウムの準備と科研費不採択結果について(篠原)。

検討事項

- 1) 日本学術会議の動向と連合との関わり: 鎮西代表から学術会議法の一部改正法案に関する情報が説明され、会員選考方式の変更(学協会を基礎としていた選考から学術会議会員による指名へ移す)、現行7部制から3部制へ改組(人文科学、生命科学、理学・工学)、連携会員の新設などが紹介される。新組織案では、自然史科学関連分野が2つの部に分離されることになる。学術会議の果たしてきた役割と現在の動き(第19期の活動と予定)に注意を払いながら、自然史科学の普及振興のため、新しい学術会議の中2部にまたがる自然史科学関連の組織を立ち上げる機会を探る方法について検討した。このことに関連して学術会議会員との意見交換の機会をつくることやその方法について意見を出し合ったが、結論には至らず引き続き検討することにした。
- 2) 自然史科学の重要性と広報活動について: 自然史学会連合の名を広めるための広報活動について論じた。特に主催シンポジウムについて問題点を探った。主催シンポジウムの毎年実施の是非、テーマとターゲットとすべき参加者の絞り込み、総会との抱き合わせ開催の必然性があるか否か等の検討課題が多く示された。主催シンポジウム予算の一部を加盟学協会との共催シンポジウムに充てるなど、連合の存在と活動を社会にアピールするよりも加盟学協会の活動のサポートを重視すべきでは等の意見がだされ、検討することとした。

3) 博物館関係者のネットワークについて：博物館関係者のメールアドレス等の収集については大部分の学協会から個人情報の提供に絡むため対応できない等との返事を受けたことを庶務が説明。この状況から博物館部会と加盟学協会所属の博物館職員の直接の連絡網の構築は白紙にもどし、時間をかけて少しずつネットワークを広げてゆく方法に切り替えることにした。博物館部会の情報は加盟学協会代表もしくは事務局を通じて提供する等の方法を検討した。

その他

出版助成費の不採択状況の調査を継続して行う。採択、不採択、申請なし等の動向を数年間実施して傾向を探り、連合加盟学協会の共有情報とする案がだされた。

幹事から

学術会議の再編と科研費の申請分野再編については、19期日本学術会議古生物学研連委員の鈴木三男幹事からニュース前号に報告があったように、自然史科学系の学問の進展と、学会の活動に不利益が及ばないように今後の動向に注意を払ってゆく必要があります。

学会からのお知らせ

日本植物分類学会第4回大会（2005年）のお知らせ

庶務幹事 遊川知久

日本植物分類学会第4回大会は次の通り開催する予定です。

1. 会場

高知県立牧野植物園（高知市五台山4200-6）

2. 日程

3月11日(金)午後：公開シンポジウム

（仮題）「植物インベントリーにおける国際協力研究 - その現状および将来的課題 - 」

3月12日(土)午前：一般講演

午後：総会、学会賞受賞記念講演、ポスター発表、懇親会

3月13日(日)午前・午後：一般講演

3. 大会に関する連絡先

田中伸幸

〒781-8125 高知市五台山4200-6

TEL: 088-882-2725 FAX: 088-882-8635

e-mail: nbtanaka@makino.or.jp

なお、大会の詳細及び参加申し込み等のご案内は、次号のニューズレター(11月号)でお知らせします。

平成 16(2004)年度日本植物分類学会講演会のお知らせ

頌栄短大保育 福岡誠行

旧植物分類地理学会を引き継いだ講演会を下記のようにもちます。午前中のお2人はオーソドックスな分類で、種の扱いに新知見が発表されるのではないのでしょうか。秋山さんはどんな展開になるのかそれこそ「楽しみ」です。武田さんは神戸市再度山における30年間の成果です。田端さんはヒマラヤやツンドラや広く歩かれた体験にもとづいた結果です。

おかげさまで、今回もおもしろいプログラムが組めたと喜んでいきます。講演会終了後、人と自然の博物館の方に懇親会の準備をお願いしています。忘年会のつもりで、ご参集ください。

日時：2004年12月23日(祝)10時～4時30分

場所：兵庫県立人と自然の博物館

三田市弥生が丘6丁目

TEL: 0795-59-2001、FAX: 0795-59-2007

アクセス：

- ・大阪から：福知山線三田(快速で35分)下車、神戸電鉄三田にてウッディタウン中央行に乗り換え、フラワータウン(10分)下車、徒歩3分。ただし博物館の建物が道路より下にあるので見えにくい。
- ・広島、岡山方面から：東海道本線尼崎より福知山線三田にて下車、神戸電鉄に乗り換え、フラワータウン下車。
- ・神戸市内から：神戸電鉄新開地より三田行にて横山で乗り換え、フラワータウン下車。

参加費：300円

プログラム：

10:00 - 11:00 清水孝浩：楽しいスゲの分類 - ハリスゲの仲間

11:00 - 12:00 福田知子(京都大総合博物館)：日本と台湾のミヤマシキミ属の分類

12:00 - 13:00 昼食と雑談

13:00 - 14:00 秋山弘文(人と自然の博物館)：コケ植物の楽しみ

14:00 - 15:00 武田義明(神戸大発達科学部)：マツ林、30年間の変遷

15:00 - 16:30 田端英雄(岐阜県立森林文化アカデミー)：国際的に通用する日本の植生帯区分とは

第5回大会開催地の募集

庶務幹事 遊川知久

日本植物分類学会第5回大会(2006年)の開催地を募集いたします。大会開催にあたっては、講演会場(約150名収容可能なもの)、クローク、本部、休憩室、ポスター発表会場等のスペースが必要となります。また、大会中に評議員会等の会議室をお借りすることとなります。大会前の準備としては、大会案内と大会申し込み書の作成、プログラム編成、要旨集の編集・発行、懇親会会場の選定などがあります。大会運営は学会からの補助金(10万円)と参加費で行っていただきます。大会をお引き受け下さる(あるいは場合によっては引き受けても良い)という会員の方は、2004年10月20日までに庶務幹事宛(下記)にご連絡をお願いいたします。ご参考までに、これまでの大会開催地(旧学会大会を含む)は学会ホームページ(<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsps/>)でご覧になることができます。

〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1

国立科学博物館筑波実験植物園内

日本植物分類学会事務局(庶務幹事 遊川知久)

TEL:029-853-8475 FAX:029-853-8998

e-mail:yukawa@kahaku.go.jp

平成16(2004)年度野外研修会のお知らせ

庶務幹事 遊川知久

人数にまだ少し余裕があります。ふるってご参加ください。

開催日:2004年9月18日(土)~20日(月、祝)

開催地:愛知県、岐阜県

詳しくは前号をご覧ください。

ホームページ、もうみましたか？

日本植物分類学会ではホームページを設けています。Flora of Japanの内容公開をはじめ、耳寄りな情報やリンクも充実しています。ぜひ一度ご覧下さい。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsps/>

第4回(平成17年度)日本植物分類学会賞受賞候補者の募集

学会賞選考委員長 角野康郎

日本植物分類学会賞は、分類学の調査及び研究を通して本学会の発展に貢献された会員を顕彰するものです。プロ、アマチュアを問わず、さまざまな内容の調査・研究業績を幅広く対象にします。以下の要領で受賞候補者を募集致しますので、自薦、他薦を問わず、会員の皆様の積極的な応募・推薦を期待しております。なお、受賞候補者の選考は「学会賞についての細則」に定める学会賞選考委員会で行います。

募集要領

1. 資格：本学会の会員ならばどなたでも応募できます。
2. 応募方法：他薦の場合は、推薦する候補者の氏名と推薦理由をお知らせ下さい。必要な資料があれば選考委員会から候補者に提出を依頼します。
自薦の場合は、以下の事項を A4 用紙に記入して（書式は自由）お送り下さい。
応募は、郵便または E-mail でお願いします。
3. 記入事項（自薦の場合）
 - (1) 候補者の略歴（生年月日、学歴、職歴）
 - (2) 調査・研究業績の概要
 - (3) 業績リスト（著書、論文、他）と本学会大会での発表記録。できれば代表的な業績の別刷またはコピーを添付してください。
4. 送付・問い合わせ先：
〒 657-8501 神戸市灘区鶴甲 1 - 2 - 1
神戸大学理学部生物学教室 角野康郎宛
TEL: 078-803-5719 FAX: 078-803-5719
e-mail: kadono@kobe-u.ac.jp
5. 応募締切日：平成 16 年 11 月 30 日
6. その他：受賞者は平成 17 年春の日本植物分類学会総会において表彰されます。また受賞者には原則として同大会において受賞講演を行っていただきます。

国際植物命名規約（セントルイス規約）2000 日本語版の訂正 (II) —————

国際植物命名規約邦訳委員長 大橋広好

前回本ニュースレター No.12 (Feb. 2004) でお知らせした後で、次の誤りが見つかりました。ご指摘に感謝します。

- p. x (第46条実例18を見よ) (第46条実例21を見よ)
p. 18 第10条実例5. Nalson Nelson
p. 46 勧告23A.3.(i)の(勧告24Aをみよ) (勧告34Aをみよ)

最初の誤りは序文中のものです。翻訳による誤りではありませんが、訂正します。原文では「実例18」となっていますが、内容から判断して「実例21」の誤りです。これが「東京規約」では第46条実例18であったためでしょう。*Lupinus* Tourn. ex L.(1753) は命名規約の中に古くからある実例で、1910年「ブラッセル規約」にすでに挙げられています。最もよく知られている実例の一つでしょう。ルピナスを見ると、私も Tournefort の名が浮かび、学名の出発点を Tournefort とするか Linnaeus とするかが命名規約制定当初の大問題であったと言われていることを思い出すことがあるくらいです。翻訳した際に、序文中にこの実例が採り上げられているのを見て「*Lupinus* Tourn. ex L. (1753) がまだ生きてるな」というある種の安心感のようなものをもってしまい、実例の原文を確かめなかったためにその番号が変わっていることに気付かなかったような気がします(あるいは原著の編集委員会でも?)。見付けてくれたのは、ある研究室の学生の命名規約読書会であったそうです。若い分類学研究者が命名規約を勉強してくれるのを頼もしく思いつつ、言い訳を書きました。

編集後記

暑い夏ですが、いかがお過ごしですか？

ニュースレターの編集も、「やまぐるま」も含めると5年になりました。とうとう今年度でお役ご免になります。今年度のニュースレターはあと一号あるのですが、長期出張する予定なので会計の横山さんにピンチヒッターをお願いしてあります。ということで、編集は今号が最後。原稿を下さったみなさま、本当にお世話になりました。そして読んでくださった会員のみなさま、ご愛読本当にありがとうございました。今度はぜひ、学会や研修会、はたまたフィールドでばったりお目にかかりましょう！

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学博物館
西田佐知子

電話：052-789-5764 ファックス：052-789-5896
Email: nishida@num.nagoya-u.ac.jp

会費納入と自動振替利用のお願い

会計幹事 横山 潤

本学会の会費は前納制で、一般会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、団体会員 8,000 円です。納入状況はニュースレター送付の際の宛名書きの右下に「納済会費：数字」という形で示してあります（自動振替制度をご利用の方は、数字の代わりに「自動振替」と記入されています）。この数字が 2004 未満の方は、以下の郵便振替口座にお早めに納入いただきますよう、よろしくお願い致します。

口座番号：00120 - 9 - 41247

名 義：日本植物分類学会

ご承知のように会費納入に自動振替をご利用頂けるようになっております。会計事務削減のため、なるべく本制度をご利用頂きますよう、よろしくお願い致します。ご希望の方は、自動振替依頼書にご記入・ご捺印の上、随時会計幹事にお送り下さい（ただし 2004 年度の会費引き落とし手続きは終了しておりますので、ご利用は 2005 年度からになります）。依頼書をご希望の方は会計幹事までお問い合わせ下さい。

その他、会費納入に関するご質問、納入状況のご照会など、随時承っておりますので、お気軽にお知らせ下さい。会計幹事の連絡先は、ニュースレター巻末をご参照下さい。

現在 130 名以上の会員が 1 年分、さらにそのうちの 70 名以上の会員が 2 年分の会費をお納めいただいてません。上記納入年度をご確認の上、速やかな未納分の解消にご協力下さいますよう、お願いいたします。3年以上の長期滞納会員に対しましては、学会誌等の発送を停止させていただきますので、ご承知おき下さい。

連絡員からときどき便り

シダ便り・2・

国立科学博物館筑波実験植物園 松本 定

この頃、コケシノブ科の分類系統の研究をしている海老原淳君からのお誘いもあって、ハイホラゴケ類の研究生材料をあずかっている。コケシノブ科の植物は栽培が大変難しいといわれ、通常の温室管理では私も何度か失敗したが、ハイホラゴケ類は実に栽培が容易である。根がほとんどなく毛が密生した根茎が長く這い、気孔が無く、葉脈以外は1層の細胞層の葉でコケに似ている。日本には南からオオハイホラゴケ、コケハイホラゴケ(西表島特産)、ハイホラゴケ、ヒメハイホラゴケの4種が知られているが、日本シダの会企画・倉田・中池の日本のシダ植物図鑑ではハイホラゴケ1種として扱われている。典型品ははっきり区別できるがTNSのハーバリウムに収められている日本全国から集めたこの証拠標本では各型を判別することは不可能である。故三井邦男博士が各所で3倍体不稔性個体を発見し、その後研究の進展が無かったところへ、海老原君が登場した。もっとも、私が身近なところの材料で攻めるのも必要だとアドバイスしたこともきっかけになったようだ。DNA(SSCPなど)とフローサイトメトリー分析により基本的4種の分化が明らかになり、オオ、ハイ、ヒメの複合した異質4倍体や不稔性3倍体の存在もわかってきて、日本シダの会会員への呼びかけなどで全国から材料がかなり集まってきた。驚くことにほとんどが3倍体雑種であった。昨年11月オオの2倍体を台湾の北部と南部において二人で採集し、ハイホラは小笠原諸島、ヒメは青森で2倍体が見つかる程度である。親が居ないのにどうして雑種ができるのか不思議であった。そんな時、伊豆下田の我が家近辺の石切り場跡地に以前から気になっていたハイホラゴケ3型の混生地を訪れ、分析材料を採集していたところ、糸くず状の配偶体が密生する中にハイホラゴケ類の胞子体が見つかった(図参照)。分析結果はすべて組み合わせが異なる3倍体雑種であった。自殖または同型接合できにくい性質があり、3種の親が近くに居なくてもそれらの配偶体が存在しているのかもしれない。この石切り場の石は江戸から明治にかけて切り出され、江戸に送られたものでそんなに古くない。壁一面この配偶体で覆われているところもある。まさか配偶体が空中を飛んではいないだろうか。



ハイホラゴケ類(コケシノブ科)の幼植物(下)と糸くず状の配偶体(上)

花畑はつづくよどこまでも

～ アジアの植物紹介・ワレモコウ属 2 ～

九州大学 三島美佐子

また *Sanguisorba* である。申し訳ない。しかも場所はカナダ。アジアとはほど遠いが、アジアに連なる植物紹介ということでお許しいただこう。

タカネトウウチソウ (*S. stipulata*) は極東アジアの高山帯に生えている。これがアリューシャンを越えアラスカを経てアメリカ合衆国北西部の高山帯にまで至る。そこからとんで北米東部に分布する。ミズバショウちっくな隔離分布である。アメリカ北西部のものは *S. sitchensis*、北東部のものは *S. canadensis* とされているが、しばしば三つ巴でシノニム扱いされる。*S. canadensis* では 8 倍体が報告されていたので、この 3 種の種分化と倍数化との関係を知りたくて、その 8 倍体を得るべくケベックまで行くことにした。

広大な、セントローレンス川の河川敷を、*S. canadensis* は埋め尽くしていた。時は 1997 年 8 月、咲く花は *Sanguisorba* のみならず、色とりどりに路端を飾っている。そして驚いたのは、虫の数！ たくさん。 *Sanguisorba* にもけっこう来ている。 *Sanguisorba* にもこんなにボンブスやハナバチが来るのかー！ と感動したものだ。

セントローレンス川沿いを東に車を走らせる。延々と花畑は続く。200km ほど（日本なら東京—浜松くらい、数地点をプロットするにはいい距離だ）走ったところで採集地点を道路地図に落としたら、点がほとんど重なってしまい、すごい徒労感におそわれた。時間切れで戻ったが、この先セントローレンス川は 100km 近い川幅をもつ河口へと続く。スケールがでかい。延々と続く *S. canadensis* は均質な印象だ。河川沿いは地理的な障壁もなく、数百キロにわたってでも遺伝的な交流がたやすいのかもしれない。結局 8 倍体はゲットできなかったが、まああれだけたくさん生えてりゃ、集団の中に何個体か倍数体があってもおかしくないだろう、というのが当時のとりあえずの結論である。



上：道路と川の間は広い野原で、花が咲き乱れている。下左：*S. canadensis*、とにかくでかい。ぱっとみナガボノワレモコウそっくり。下右：しかし花はタカネトウウチソウそのもの。ハチが来てます

日本植物分類学会選挙人名簿 (2004年8月現在)

選挙人の氏名と所属のみを記述しています。紙面節約のため、所属を略したり字幅を狭めて掲載した方もいます。お許し下さい。詳しい情報は会員名簿を参照して下さい。

| 氏名 | 所属 | 氏名 | 所属 |
|--------|--------------------------|--------|-------------------|
| 逢沢 峰昭 | 東京大・農・森林科学 | 池上 宙志 | 株式会社 環境アセスメントセンター |
| 相原 英二 | | 生駒 義篤 | |
| 青木 京子 | 京都大・院・理 | 井鷲 裕司 | 広島大・総合科学・自然環境 |
| 青木 繁 | 滋賀県立朽木いきものふれあいの里 | 石川 寛 | 千葉大・理・生物 |
| 青木 誠志郎 | 東京大・院・総合文化・広域科学 | 石沢 進 | 新潟大・理学部 |
| 秋田 徹 | 日本新薬株式会社 山科植物資料館 | 石田 健一郎 | 金沢大・理・生物 |
| 秋元 秀友 | 自然環境研究センター | 石月 勇治 | 羽村市立羽村第三中学校 |
| 秋山 幸也 | 相模原市立博物館 | 石原 涉 | |
| 秋山 忍 | 国立科学博物館 | 石見 勝洋 | 日本大・理工・化学 |
| 秋山 弘之 | 兵庫県立人と自然の博物館 | 磯田 圭哉 | 九州大・農・林産 |
| 秋山 守 | | 磯部 和久 | |
| 上石 貞夫 | | 一戸 良行 | 日本大・理工・化学 |
| 阿古目 良子 | | 伊藤 健 | 東京農業大・植物園 |
| 浅井 康宏 | 東京歯科大学・歯学部 | 伊藤 浩司 | |
| 朝川 毅守 | 千葉大・理学部 | 伊藤 悟 | |
| 浅野 一男 | | 伊藤 武 | |
| 浅間 恒雄 | (株) 緑生研究所 | 伊藤 元己 | 東京大・院・総合文化 |
| 浅見 卓 | 十津川高校 | 井藤 賀操 | (株) セイア |
| 安嶋 隆 | 茨城県立太田第一高等学校 | 稲野 藤一郎 | |
| 芦谷 美奈子 | 滋賀県立琵琶湖博物館 | 井波 明宏 | 筑波大学農林技術センター井川演習林 |
| 東 隆行 | 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園 | 井上 勲 | 筑波大・生物科学 |
| 東 浩司 | 京都大・理・植物 | 井上 賢治 | 東京農業大学 |
| 畔上 絵美 | 大阪教育大・院・教育 | 井上 惠充 | 奈良県立五条高等学校 |
| 安倍 清彦 | 山口大・理 | 井上 哲也 | 町立 新津中学校 |
| 阿部 直子 | 株式会社 エコリス | 井上 尚子 | 広島市植物公園 |
| 尼川 大録 | | 猪上 信義 | 福岡県森林センター |
| 天野 史郎 | | 井上 正鉄 | 秋田大・教育・生物 |
| 天野 典英 | サントリー株式会社 基礎研究所 | 井上 好章 | 岐阜県博物館 |
| 天野 誠 | 千葉県立中央博物館 | 井原 寛人 | 株式会社 地域環境計画 |
| 安見 珠子 | 茨城県岩瀬町立羽黒小学校 | 茨木 靖 | 徳島県立博物館 |
| 新井 勝利 | | 今井 高嶺 | |
| 有川 智己 | 慶應義塾大・生物 | 今井 力 | |
| 安藤 敏夫 | 千葉大・園芸 | 今井 洋 | |
| 安藤 義範 | 株式会社ウエスコ 大阪支社 | 今市 涼子 | 日本女子大・理・物質生物科学 |
| 飯田 一令 | 総合科学株式会社 | 今江 正知 | 崇城大・工・環境科学 |
| 飯田 聡子 | 神戸大・理・生物 | 今川 弘 | 六甲高山植物園 |
| 飯間 雅文 | 長崎大・環境科学 | 今津 道夫 | |
| 五百川 裕 | 上越教育大・自然・生物 | 岩佐 吉純 | |
| 五十嵐 博 | 有限会社ムーヴ植物設計 | 岩科 司 | 国立科学博物館筑波実験植物園 |
| 猪狩 雅史 | オフィス・メイプル | 岩田 豊太郎 | |
| 池田 登志男 | | 岩田 光 | 湧永製薬株式会社 |
| 池田 豪憲 | | 岩田 政志 | アビエス植物研究所 |
| 池田 博 | 岡山理科大・総合情報 | 岩谷 成彦 | |
| 池谷 祐幸 | 農業技術研究機構 | 岩槻 邦男 | 放送大学 |
| | | 岩月 善之助 | (財) 服部植物研究所 岡崎分室 |

| 氏名 | 所属 | 氏名 | 所属 |
|--------|--|--------|-------------------|
| 岩坪 美兼 | 富山大・理・生物 | 大平 豊 | |
| 岩中 信市 | | 近江 麻衣子 | (株)環境指標生物 |
| 岩波 均 | | 大宮 徹 | 富山県中央植物園 |
| 岩橋 知佐子 | 県立粉河高等学校 | 大村 敏朗 | (有)大村 |
| 岩村 政浩 | | 大村 嘉人 | 国立環境研究所 |
| 岩元 明敏 | 東京大学総合研究博物館 | 大森 威宏 | 群馬県立自然史博物館 |
| 岩本 晋 | 協和発酵工業株式会社東京研究所 | 大森 鉄雄 | 衣川村立南股小学校 |
| 植田 邦彦 | 金沢大・理 | 大森 雄治 | 横須賀市自然博物館 |
| 上野 達也 | 上野植物調査室 | 大屋 哲 | 名瀬市立芦花部小学校 |
| 上野 雄規 | | 岡崎 純子 | 大阪教育大・生物 |
| 上野 裕 | | 岡崎 達彦 | |
| 上原 浩一 | 千葉大・園芸・植物構造 | 小笠原 宣好 | 山形大・農 |
| 植村 和彦 | 国立科学博物館 | 岡田 元 | 理化学研究所 微生物系統保存施設 |
| 植村 修二 | | 岡田 潤 | |
| 薄葉 満 | | 岡田 た江 | |
| 内田 暁友 | 斜里町立知床博物館 | 岡田 博 | 大阪市立大・理・植物園 |
| 内野 秀重 | | 緒方 政史 | |
| 宇那木 隆 | 賢明女子学院 | 岡田 水城 | |
| 梅林 正芳 | 金沢大・理 | 岡部 真也 | (株)アズテック |
| 梅原 徹 | 環境設計(株)調査研究室 | 岡村 はた | |
| 梅本 光一郎 | | 岡本 達哉 | 高知大・理・自然環境科学 |
| 梅本 信也 | 京都大・農 | 岡本 恒美 | 大阪府立茨木工業高等学校 |
| 梅本 浩史 | | 岡本 素治 | 大阪市立自然史博物館 |
| 榎本 敬 | 岡山大学資源生物科学研究所 | 小川 憲彰 | 福井県朝日町立福井総合植物園 |
| 海老原 淳 | 東京大・院・総合文化・広域システム | 小川 誠 | 徳島県立博物館 |
| 江村 一子 | Volkshochschule Hannover | 荻巢 樹徳 | |
| 遠藤 泰彦 | 茨城大・地球生命環境科学・地圏環境進化 | 沖田 貞敏 | 秋田県立西仙北高等学校 |
| 遠藤 康弘 | 東京大・院・理・生物科学 | 荻沼 一男 | 高知女子大・生活科学 |
| 及川 義明 | | 荻野 一道 | 株式会社フシメケミカル 品質管理部 |
| 笈木 秀治 | 東京大・院・総合文化・広域科学 | 奥田 桂介 | 岐阜大・院・教育・生物 |
| 大井 哲雄 | 東京大・院・理・植物園 | 奥田 幸男 | 奥田製菓(株) |
| 大久保 栄治 | | 小倉 洋志 | 栃木県立博物館 |
| 大沢 敦 | 東北大・理・植物園 | 小栗 恵美子 | 広島大・院・理・生物科学 |
| 大澤 進 | | 長田 敬五 | 日本歯科大学新潟歯学部生物 |
| 太田 久次 | | 小澤 正幸 | |
| 太田 道人 | 富山市科学文化センター | 生塩 正義 | |
| 太田 康久 | Centro tecnologico agropecuario en Bolivia | 織田 二郎 | 大阪府立柏原東高等学校 |
| 大田 喜之 | (財)海洋生物環境研究所 | 小田倉 正園 | 麻布大・環境保健 |
| 大谷 修司 | 島根大・教育・生物 | 落合 雪野 | 鹿児島大学総合研究博物館 |
| 大津 任 | | 落石 秀行 | |
| 大塚 喜久雄 | (有)醍醐 | 音山 明久 | |
| 大塚 孝一 | | 小野 幹雄 | |
| 大野 順一 | 武田薬品工業(株)浜松営業所 | 小原 静 | 株式会社 イーエーシー 環境部 |
| 大野 正男 | 東洋大 | 角田 充 | |
| 大場 達之 | | 加崎 英男 | |
| 大場 敏道 | アジア・ヒマラヤ植物研究会 | 檉崎 廣太郎 | 河南東中学校 |
| 大場 秀章 | 東京大学総合研究博物館 | 梶田 忠 | 千葉大・理・生物 |
| 大橋 広好 | 東北大・院・理・植物園 | 柏谷 博之 | 国立科学博物館 |
| 大原 隆明 | 富山県中央植物園 | 数見 保則 | アズウェル労働組合 |
| | | 総谷 文清 | |

| 氏名 | 所属 | 氏名 | 所属 |
|--------|-------------------|--------|---------------------|
| 加田 勝敏 | | 木下 栄一郎 | 金沢大・理・植物園 |
| 片西 秀文 | | 木下 慶二 | |
| 片野田 逸朗 | 鹿児島県林業試験場 | 木下 覚 | |
| 勝木 俊雄 | 森林総合研究所多摩森林科学園 | 木下 長則 | システム環境計画コンサルタント株式会社 |
| 勝山 輝男 | 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 木原 英男 | |
| 葛山 博次 | | 木俣 美樹男 | 東京学芸大学環境教育実践施設 |
| 加藤 朗子 | 東京都立大・理・牧野標本館 | 金 貞成 | 京都大・院・理・生物科学 |
| 加藤 信英 | | 木村 全邦 | |
| 加藤 辰己 | 福岡工業大・社会環境 | 木村 勝好 | |
| 加藤 信重 | 独協大・外国学 | 木村 研一 | 株式会社 PCE |
| 加藤 法子 | (株) 葦華房 | 木村 憲司 | 前澤工業株式会社 |
| 加藤 英寿 | 東京都立大・理・牧野標本館 | 木村 孟淳 | 第一薬科大・生薬 |
| 加藤 博之 | | 木村 晴夫 | |
| 加藤 雅啓 | 東京大・院・理・生物科学 | 木村 雅行 | 寝屋川市福祉事務所 |
| 門川 朋樹 | 京都大・院・理・生物 | 木村 陽子 | |
| 門田 康孝 | 株式会社 環境科学研究所 | 木村 陽二郎 | |
| 門田 裕一 | 国立科学博物館 | 木本 行俊 | 京都大・理・生物科学 |
| 角野 康郎 | 神戸大・理・生物 | 喜友名 朝彦 | (株) エヌシーアイエムピー・ジャパン |
| 金綱 善恭 | | 清未 忠人 | |
| 兼本 正 | 富山県中央植物園 | 桐野 秀信 | 鹿児島市立鴨池中学校 |
| 壁谷 祥和 | 名城大学 | 釘貫 ふじ | 本町薬品 |
| 上赤 博文 | 佐賀県教育センター | 串田 宏人 | 埼玉県生態系保護協会 |
| 上谷 浩一 | 九州大・院・理 | 楠瀬 雄三 | 総合科学株式会社 |
| 神谷 充伸 | 福井県立大・生物資源・海洋生物資源 | 工藤 洋 | 神戸大・国際文化・生物 |
| 神山 隆之 | ツボ& YOU のかみやま | 久原 泰雅 | 新潟県立植物園 |
| 嘉弥真 国男 | 沖縄少年院 | 熊谷 宜子 | |
| 唐崎 千春 | 京都大・院・理・生物科学 | 熊谷 尚久 | 愛知県立鳳来寺高等学校 |
| 刈屋 寿 | | 久米 修 | 香川県東部林業事務所 |
| 仮屋崎 忠 | 熊本マリスト学園中・高等学校 | 倉重 祐二 | 新潟県立植物園 |
| 狩山 俊悟 | 倉敷市立自然史博物館 | 倉田 薫子 | 京都大・院・人間・環境 |
| 川井 浩史 | 神戸大学内海域機能教育研究センター | 倉田 重夫 | |
| 川窪 伸光 | 岐阜大・教養・生物 | 倉成 靖任 | |
| 川嶋 昭二 | | 倉本 嗣王 | |
| 川瀬 大樹 | 京都大学生態学研究センター | 栗田 子郎 | 千葉大・理・生物 |
| 川地 辰美 | | 栗林 実 | (株) 生態システム研究所 |
| 河野 昭一 | 京都大・理・植物 | 栗原 孝 | グレラン製薬 株式会社 |
| 河原 孝行 | 森林総合研究所北海道支所 | 来崎 良輝 | 西部環境調査株式会社 |
| 川辺 龍太郎 | | 黒岩 宣仁 | 高知県立牧野植物園 |
| 神田 啓史 | 国立極地研究所 | 黒木 秀一 | 宮崎県総合博物館 |
| 菅野 宗武 | 東北大・理・植物園 | 黒崎 史平 | 頌栄短期大学 |
| 城川 四郎 | | 黒沢 幸子 | |
| 菊地 卓弥 | 秋田県立大館鳳鳴高等学校 | 黒沢 高秀 | 福島大・教育 |
| 菊地 則雄 | 千葉県立中央博物館分館海の博物館 | 黒田 明穂 | |
| 木口 博史 | 埼玉県久喜高等学校 | 桑垣 瑞 | 龍谷大学 |
| 喜多 陽子 | 東京大・院・理 | 桑田 健吾 | |
| 北川 尚史 | 奈良産業大・経営 | 小池 文人 | 横浜国立大・院・環境情報 |
| 北見 健彦 | 新潟大・理・佐渡臨海実験所 | 小出 和重 | |
| 北水 慶一 | 大磯町郷土資料館 | 厚井 聡 | 東京大・院・理・生物科学 |
| 北本 毅 | | 河野 和博 | |
| 城戸 崇雄 | | 甲守 崇 | |

| 氏名 | 所属 | 氏名 | 所属 |
|--------|----------------|--------|------------------------|
| 古賀 佳好 | | 崎山 優子 | 神戸大・理 |
| 国分 尚 | 千葉大・園芸 | 櫻井 幸枝 | 長岡市立科学博物館 |
| 国分 英俊 | | 迫田 昌宏 | 中外テクノス株式会社 |
| 國府方 吾郎 | 国立科学博物館筑波実験植物園 | 笹川 通博 | 新潟県立新津高等学校 |
| 小清水 康夫 | | 佐々木 太一 | |
| 小杉 明 | 東京農業大学第一高等学校 | 佐々木 寧 | 埼玉大・工・建設工学 |
| 小菅 桂子 | 神戸大・理・生物 | 笹富 広一郎 | |
| 古平 栄一 | 京都府立植物園 | 笹本 彰彦 | |
| 後藤 常明 | 郡上郡明宝村小川小学校 | 佐治 達三 | |
| 後藤 鉄雄 | 県立湯沢高等学校 | 指田 豊 | 東京薬科大・薬 |
| 後藤 敏一 | 近畿大・医・生物 | 佐藤 謙 | 北海学園大・工 |
| 後藤 稔治 | 岐阜県立大垣東高等学校 | 佐藤 俊一 | 嘉島産業株式会社 |
| 小西 達夫 | 国立科学博物館筑波実験植物園 | 佐藤 隆雄 | |
| 木場 英久 | 神奈川県立博物館 | 佐藤 卓 | 富山県立雄峰高等学校 |
| 木幡 欣一 | | 佐藤 孝敏 | 静岡県庁森林整備課 |
| 小畠 裕子 | | 佐藤 千芳 | 熊本学園大学付属高校 |
| 小林 修一 | | 佐藤 利幸 | 信州大・理・生物科学 |
| 小林 史郎 | 高知県立牧野植物園 | 佐藤 嘉彦 | 横浜国立大・教育・生物 |
| 小林 真吾 | 愛媛県総合科学博物館 | 佐野 順子 | |
| 小林 清一 | 八王子市立由木東小学校 | 佐野 亮輔 | 理化学研究所植物科学研究センター |
| 小林 艶子 | 湘南短期大・生物 | 佐橋 紀男 | 東邦大・薬 |
| 小林 富一郎 | | 鮫島 弘光 | 京都大・理・植物 |
| 小林 禧樹 | | 澤 完 | 高知大・農 |
| 小林 浩幸 | 東北農業試験場 | 澤田 久一郎 | |
| 小林 幹夫 | 宇都宮大・農・森林科学 | 志内 利明 | 富山県中央植物園 |
| 小林 元男 | | 志賀 隆 | 神戸大・国際文化・生物 |
| 小林 義信 | | 志岐 和紀 | |
| 小藤 累美子 | 金沢大・理・生物 | 篠原 涉 | 京都大・理・植物 |
| 小松 かつ子 | 富山医科薬科大・和漢薬研究所 | 芝池 博幸 | 農業環境技術研究所 |
| 小宮 定志 | | 柴田 敏郎 | 北海道薬用植物栽培試験場 |
| 小山 栄 | | 島袋 寛盛 | 鹿児島大・水産・海洋資源環境教育研究センター |
| 小山 鐵夫 | 高知県立牧野植物園 | | |
| 小山 博滋 | 常磐大・コミュニティ振興学 | 嶋村 正樹 | 財団法人地球環境産業技術研究機構 |
| 近田 文弘 | 国立科学博物館 | 清水 晶子 | 東京大学総合研究資料館 |
| 近藤 勝彦 | 広島大・理 | 清水 建美 | |
| 権藤 啓子 | | 清水 英彦 | 清水植生調査室 |
| 近藤 健児 | (株)ツムラ中央研究所 | 清水 満子 | 東洋大・自然科学 |
| 近藤 誠三 | 小太郎漢方製薬(株)研究所 | 下山 祐樹 | |
| 近藤 浩文 | | 小路 登一 | |
| 近藤 ゆかり | | 白岩 卓巳 | |
| 斎木 健一 | 千葉県立中央博物館 | 末吉 昌宏 | 森林総合研究所 |
| 斎藤 亀三 | | 須賀 瑛文 | K.K 環境科学研究所 |
| 斎藤 慧 | | 菅沼 孝之 | |
| 齋藤 宗勝 | 盛岡大・短期大学部 | 菅村 定昌 | |
| 酒井 俊英 | | 菅原 敬 | 東京都立大・理・牧野標本館 |
| 坂井 奈緒子 | 富山市科学文化センター | 杉野 孝雄 | |
| 榊原 靖 | 名古屋市環境科学研究所 | 杉村 康司 | 千葉大・院・自然科学 |
| 坂田 正 | 夙川学院高校 | 杉村 喜則 | 島根大・生物資源科学部 |
| 佐方 敏男 | | 杉本 学 | 東京都立大・理・牧野標本館 |
| 坂山 英俊 | 東京大・院・理・生物科学 | 杉山 純多 | 東京大学分子細胞生物学研究所 |

| 氏名 | 所属 | 氏名 | 所属 |
|--------|----------------------|--------|----------------------|
| 杉山 明子 | 埼玉女子短期大学 | 高橋 泰恵 | 広島大・院・理・生物科学 |
| 鈴鹿 紀 | | 高橋 賢一 | 石炭の歴史村 化石展示館 |
| 鈴木 彰 | 千葉大・教育・生物 | 高橋 庄一 | |
| 鈴木 和雄 | 徳島大・総合科学部 | 高橋 大等 | 森と緑の研究所 |
| 鈴木 一嘉 | 大阪市立大・理・生物 | 高橋 秀男 | 神奈川県立生命の星・地球博物館 |
| 鈴木 勝己 | 豊田市自然観察の森 | 高橋 英樹 | 北海道大学総合博物館 |
| 鈴木 邦雄 | 富山大・理・生物 | 高橋 弘 | 岐阜大・教育・生物 |
| 鈴木 貢次郎 | 東京農業大・地域環境科学 | 高橋 正道 | 新潟大・理・自然環境科学 |
| 鈴木 武 | 兵庫県立人と自然の博物館 | 高橋 祥祐 | 秋田県立博物館 |
| 鈴木 兵二 | | 高橋 誼 | 門別町教育委員会 |
| 鈴木 昌友 | | 高原 光 | 京都府立大・農・演習林 |
| 鈴木 まほろ | 岩手県立博物館 | 高松 進 | 三重大学生物資源学部 |
| 鈴木 三男 | 東北大・理・植物園 | 高宮 正之 | 熊本大・理・環境理学 |
| 須田 泰夫 | | 高山 浩司 | 東京大・院・理・植物園 |
| 須藤 志成幸 | | 高山 徹 | パシフィックコンサルタンツ(株)横浜支社 |
| 須山 知香 | 金沢大・理・生物 | | |
| 陶山 佳久 | 東北大・農・附属農場 | 高山 均 | |
| 諏訪 文二 | 夷隅農業改良普及センター | 高山 正裕 | 株式会社 紅樹 |
| 瀬井 純雄 | | 太川 浩平 | |
| 瀬尾 明弘 | 京都大・院・理・植物 | 田川 裕美 | 国立歴史民俗博物館 |
| 関 太郎 | 広島大・理・宮島自然実験所 | 瀧澤 好位 | |
| 関口 克己 | (株)グリーン・ハート | 竹内 佐枝子 | 株式会社 静環検査センター |
| 瀬戸 剛 | | 武田 治子 | 日本工営株式会社 |
| 瀬戸口 浩彰 | 京都大・総合人間・自然環境 | 武田 究 | 福井県立若狭高等学校 |
| 芹沢 俊介 | 愛知教育大・生物 | 武田 義明 | 神戸大・発達科学部 |
| 仙仁 径 | 東京都立大・理・牧野標本館 | 竹原 明秀 | 岩手大・人文社会科学・生物 |
| 相地 満 | | 竹村 周 | |
| 副島 顕子 | 大阪府立大・総合科学・生命科学 | 岳本 亨 | 株式会社 西日本科学技術研究所 |
| 十河 暁子 | 京都大・院・理・生物科学 | 多田 一郎 | |
| 曾根田 正己 | 東京家政大・微生物研究室 | 太刀掛 優 | |
| 昔 東妊 | 東京大・院・理・植物園 | 立石 幸敏 | |
| 大悟法 滋 | 上越教育大・自然・理科 | 立石 庸一 | 琉球大・教育・生物 |
| 埜田 宏 | 森林総合研究所 | 田中 昭彦 | |
| 高尾 静代 | | 田中 敦司 | 岡山理科大・自然科学研究所蒜山分室 |
| 高木 貞夫 | 北海道大・農・昆虫体系 | 田中 一新 | |
| 高木 俊夫 | | 田中 一男 | 日本ミクニヤ株式会社 |
| 高須 英樹 | 和歌山大・教育・生物 | 田中 次郎 | 東京水産大・資源育成・水産生物 |
| 高杉 茂雄 | | 田中 徹 | |
| 高瀬 和之 | | 田中 俊雄 | |
| 高相 徳志郎 | 琉球大・熱帯生物圏研究センター西表実験所 | 田中 利雄 | 愛知学院短期大学 |
| 高田 克彦 | 秋田県立大・木材高度加工研究所 | 田中 俊弘 | 岐阜薬科大学 |
| 高田 順 | | 田中 伸幸 | 高知県立牧野植物園 |
| 高田 史朗 | 読売新聞大阪本社科学部 | 田中 法生 | 国立科学博物館筑波実験植物園 |
| 高野 昭人 | 昭和薬科大学 | 田中 徳久 | 神奈川県立生命の星・地球博物館 |
| 高野 温子 | 兵庫県立人と自然の博物館 | 田中 教之 | 帝京大・文・教育 |
| 高野 祐晃 | 江刺市児童センター | 田中 正明 | |
| 高橋 晃 | 兵庫県立人と自然の博物館 | 田中 光彦 | 府立成城工業高校 |
| 高橋 新 | | 谷元 峰男 | |
| 高橋 一臣 | 富山県中央植物園 | 田端 英雄 | 岐阜県立森林文化アカデミー |
| | | 玉城 栄子 | 沖縄建設弘済会 技術環境研究所 |

| 氏名 | 所属 | 氏名 | 所属 |
|--------|-----------------|--------|-----------------|
| 玉利 文吾 | 財団法人 日本生態系協会 | 長井 幸雄 | 小杉高等学校 |
| 田村 淳 | 神奈川県自然環境保全センター | 中池 敏之 | 千葉県立中央博物館 |
| 田村 和也 | | 中尾 茂樹 | 中外テクノス(株) |
| 田村 道夫 | | 中込 司郎 | |
| 田村 実 | 大阪市立大・院・理・植物園 | 中澤 利雄 | |
| 淡 賢太郎 | | 中澤 幸 | 九州大・院・理・生物科学 |
| 丹後 亜興 | 海士町役場 | 中嶋 章和 | |
| 崔 秉熙 | Inha University | 中田 政司 | 富山県中央植物園 |
| 千葉 悟志 | 市立大町山岳博物館 | 中藤 成実 | |
| 千原 光雄 | 千葉県立中央博物館 | 中西 収 | 株式会社 関西総合環境センター |
| 中馬 千鶴 | 皇学館高等学校 | 中西 稔 | 広島大・学校教育 |
| 塚田 睦夫 | | 中野 祐典 | |
| 津軽 俊介 | 大本花明山植物園 | 中野 武登 | 広島工業大・環境・環境情報 |
| 辻 誠一郎 | 国立歴史民俗博物館 | 中野 剛 | 山陽電気鉄道KK |
| 辻野 匠 | 地質調査総合センター | 永益 英敏 | 京都大学総合博物館 |
| 土屋 和三 | 竜谷大・文 | 中村 建爾 | |
| 土屋 守 | | 中村 剛 | 琉球大・院・理工・海洋自然科学 |
| 筒井 千代子 | 御岳ビジターセンター | 中村 信一 | |
| 堤 千絵 | 東京大・院・理・生物科学 | 中村 直 | 琉球大・理・海洋自然科学 |
| 椿 啓介 | 東京農業大学総研 | 中村 武久 | 東京農業大・農・林学 |
| 椿 康一 | 西村書店 | 中村 俊之 | |
| 坪田 博美 | 広島大・院・理・生物科学 | 中村 直美 | 茨城大・教育・情報教育 |
| 鶴谷 保 | 山口県立萩高等学校 | 中村 肇 | |
| 出川 洋介 | 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 中村 弘和 | (株)環境指標生物 |
| 出口 博則 | 広島大・理・生物科学 | 中村 兪雄 | |
| 出村 幹英 | | 中山 友子 | |
| 寺田 和雄 | 福井県立恐竜博物館 | 中山 祐一郎 | 大阪府立大・農 |
| 寺田 靖子 | 熊本大・院・自然科学 | 成田 務 | 愛知県立鳴海高等学校 |
| 寺田 仁志 | | 成瀬 亮司 | 富田高等学校 |
| 寺林 進 | (株)ツムラ中央研究所 | 鳴橋 直弘 | 富山大・理・生物 |
| 照沼 幸恵 | 京都大・総合人間・自然環境 | 難波 恒雄 | |
| 傳田 哲郎 | 琉球大・理・海洋自然学 | 仁井 雄治 | (株)地域環境計画 |
| 土居 祥兌 | 国立科学博物館 | 新原 修一 | 鹿児島県林業試験場 |
| 堂園 いくみ | 東京都立大・理・牧野標本館 | 西 豊行 | 日本新薬株式会社山科植物資料館 |
| 土永 浩史 | 和歌山県立南紀高等学校 | 西川 恒彦 | 北海道教育大学旭川校 |
| 得居 修 | | 西川 博章 | 株式会社 ラーゴ 本社 |
| 徳岡 徹 | 京都大・総合人間・自然環境 | 西澤 徹 | 金沢大・院・自然科学 |
| 徳増 征二 | 筑波大学菅平高原実験センター | 西沢 信一 | |
| 登坂 裕一 | 高志高等学校 | 西田 謙二 | 滋賀県立石山高等学校 |
| 戸崎 弥生 | 金沢大・院・自然科学 | 西田 佐知子 | 名古屋大学博物館 |
| 戸部 博 | 京都大・院・理・植物 | 西田 治文 | 中央大・理工・地学・生物 |
| 富取 朔 | | 西田 浩志 | 環境科学株式会社 |
| 富永 明良 | (株)緑化技研 | 西野 貴子 | 大阪府立大・総合科学 |
| 富永 英里子 | | 西畑 敬一 | |
| 富永 孝昭 | | 西原 かよ子 | |
| 内貴 章世 | 大阪市立自然史博物館 | 西村 忠司 | |
| 内藤 麻子 | 和歌山県立自然博物館 | 西村 直樹 | 岡山理科大・自然科学 |
| 内藤 宇佐彦 | | 西村 道幸 | |
| 直海 俊一郎 | 千葉県立中央博物館 | 西村 玲子 | |
| 中井 秀樹 | 東北大・院・理・生物 | 西山 茂雄 | |

| 氏名 | 所属 | 氏名 | 所属 |
|--------|-------------------|--------|------------------|
| 新田 あや | | 原 眞麻子 | 東京都教育庁文化課 |
| 鈕 力明 | 東京大学総合研究博物館 | 原 幹雄 | |
| 楡井 尊 | さいたま川の博物館 | 原田 一二三 | 兵庫県企業庁都市整備局 |
| 布 万里子 | 帝京大・薬・薬用植物園 | 原田 浩 | 千葉県立中央博物館 |
| 沼宮内 明 | | 原田 幸雄 | 弘前大・農 |
| 根平 邦人 | 広島経済大学 | 半田 孝俊 | 林木育種センター 北海道育種場 |
| 根本 智行 | 石巻専修大・理工・基礎理学 | 坂東 忠司 | 京都教育大学 |
| 野上 達也 | 石川県白山自然保護センター | 樋口 澄男 | 長野県衛生公害研究所 |
| 野口 順子 | 京都大・理・植物 | 樋口 正信 | 国立科学博物館 |
| 野口 達也 | 東洋実業(株) | 久藤 広志 | |
| 野坂 志朗 | | 日向 真理子 | |
| 野崎 久義 | 東京大・院・理・生物科学 | 日野 東 | |
| 野崎 玲児 | 神戸女学院大・人間科学 | 冷川 襄 | 漢方原田薬局 |
| 能城 修一 | 森林総合研究所 | 平岡 照代 | (財)平岡環境科学研究所 |
| 野間 直彦 | 滋賀県立大・環境科学 | 平賀 敬夫 | |
| 野呂 征男 | 名城大・薬 | 平野 弘二 | |
| 芳賀 卓 | 北海道教育大・岩見沢・生物 | 平野 亮 | 国土環境株式会社 |
| 萩原 信介 | 国立科学博物館自然教育園 | 平林 春樹 | 桐朋教育研究所 |
| 萩原 靖夫 | | 深町 真由 | 九州大・理・生物科学 |
| 朴 宰弘 | 慶北大学校 | 吹春 俊光 | 千葉県立中央博物館 |
| 朴 贊浩 | 東京大・院・理・生物科学 | 福岡 誠行 | 頌栄短期大学 |
| 朴 完根 | 韓国江原大学校 | 福岡 義洋 | |
| 橋本 皓 | | 福田 一郎 | アジア生態進化研究所 |
| 橋本 清 | | 福田 達哉 | 東北大・院・理・生物 |
| 橋本 竹二郎 | | 福田 知子 | 京都大学総合博物館 |
| 橋本 保 | 国立科学博物館筑波実験植物園 | 福留 正明 | |
| 橋本 宣子 | (株)プレック研究所中部事務所 | 福永 裕一 | |
| 橋本 光政 | | 福原 達人 | 福岡教育大・環境教育 |
| 長谷川 郁江 | | 福原 美恵子 | 九州大学総合研究博物館 |
| 長谷川 二郎 | 南九州大・地域環境 | 藤井 茂美 | |
| 長谷川 康雄 | | 藤井 伸二 | 人間環境大・環境保全 |
| 長谷川 義人 | | 藤井 俊夫 | 兵庫県立人と自然の博物館 |
| 長谷部 光泰 | 基礎生物学研究所 | 藤井 紀行 | 東京都立大・理・牧野標本館 |
| 畑中 幸次郎 | 株式会社 環境調査研究所 | 藤川 和美 | 高知県立牧野植物園 |
| 初島 住彦 | | 藤田 昇 | 京都大学生態学研究センター |
| 八田 洋章 | 国立科学博物館筑波実験植物園 | 藤本 誠 | |
| 服部 力 | 森林総合研究所 | 藤本 義昭 | |
| 花井 隆晃 | | 藤原 直子 | 豊橋市自然史博物館 |
| 羽生田 岳昭 | 神戸大学内海域環境教育研究センター | 藤原 陸夫 | 長野県自然保護研究所 |
| 馬場 篤 | | 布施 静香 | 兵庫県立人と自然の博物館 |
| 馬場 多久男 | 信州大・農・森林科学 | 船越 英伸 | 信州大・工・地球環境システム科学 |
| 浜崎 大 | (株)改良園企画部 | 舟橋 説往 | |
| 浜田 展也 | 広島県立庄原格致高等学校 | 船本 常男 | 昭和薬科大・生物 |
| 濱畑 太海 | 宮崎県立都城養護学校 | 古池 博 | |
| 浜谷 稔夫 | 東京農業大・造園 | 古川 成治 | 福島県林業研究センター |
| 早坂 英介 | 東北大・院・理・植物園 | 古木 達郎 | 千葉県立中央博物館 |
| 林 一彦 | 大阪学院大・経済・生物 | 古田 和久 | 岡山理科大・総合情報 |
| 林 義昭 | | 文 光喜 | 国立科学博物館 |
| 林 佳貴 | | 別府 敏夫 | 西東京科学大・一般教育 |
| 速水 健一 | | 保黒 時男 | |

| 氏名 | 所属 | 氏名 | 所属 |
|--------|--------------------|--------|-------------------|
| 星 良和 | 有明工業高等専門学校物質工学科 | 御影 雅幸 | 金沢大・薬・薬用植物園 |
| 星野 卓二 | 岡山理科大・総合情報 | 御巫 由紀 | 千葉県立中央博物館 |
| 星野 義延 | 東京農工大・農・地域生態システム | 三上 幸三 | |
| 細井 幸兵衛 | | 三木 栄二 | (株)ツムラ |
| 細谷 治夫 | | 三島 美佐子 | 九州大学総合研究博物館 |
| 細山田 三郎 | 鹿児島大・教育・寺山自然教育研究施設 | 水上 重夫 | |
| 堀田 満 | 西南日本植物情報研究所 | 水島 うらら | |
| 堀 トシエ | | 水田 光雄 | 神戸植物防疫所 |
| 堀井 雄治郎 | 県立横手工業高校 | 水谷 正美 | 服部植物研究所 |
| 堀内 洋 | | 水谷 善彌 | |
| 堀江 健二 | 北海道旭川高等学校 | 水野 瑞夫 | |
| 堀江 佐知子 | 東北大・院・理・生物 | 路川 宗夫 | 筑波大・生物 |
| 堀口 健雄 | 北海道大・院・理・生物 | 道下 雄大 | 大阪府立大・農学生命科学 |
| 堀野 一人 | 新潟県立吉田病院 | 道盛 正樹 | |
| 本郷 次雄 | | 光岡 祐彦 | |
| 本城 正憲 | 筑波大・生命環境科学・植物育種 | 光田 重幸 | 同志社大・工・生命科学 |
| 本田 陽子 | 聖徳大・短期大学部 | 三中 信宏 | 農業環境技術研究所 |
| 前田 徹 | 京都府立朱雀高等学校定時制 | 南木 睦彦 | 流通科学大学 |
| 牧 雅之 | 東北大・院・理・生物 | 南谷 忠志 | 宮崎県総合博物館 |
| 増田 和明 | 孺恋村立東中学校 | 箕輪 隆一 | |
| 榭田 信彌 | 東京農業大・造園 | 宮内 泰之 | 恵泉女学園園芸短期大・園芸生活 |
| 増田 浩 | 亀岡市役所 | 三宅 貞敏 | |
| 増田 道夫 | 北海道大・院・理・生物科学 | 三宅 慎也 | 神戸市立森林植物園 |
| 益村 聖 | | 宮崎 一夫 | 浜松医科大学 |
| 益山 樹生 | 東京女子大・文理学部・数理 | 宮崎 武司 | 奈良大学附属高等学校 |
| 松井 透 | 高知大・理・生物 | 宮崎 弘規 | 愛知県立平和高等学校 |
| 松井 浩 | | 宮地 和幸 | 東邦大・理・生物 |
| 松井 宏光 | 松山東雲短期大学 | 宮本 句子 | 鹿児島大・理 |
| 松井 雅之 | | 宮本 太 | 東京農業大・農 |
| 松尾 和人 | 農業環境技術研究所 | 宮脇 博巳 | 佐賀大・教育・理科 |
| 松尾 由利子 | | 美和 秀胤 | 立教大学 |
| 松田 恭子 | 新潟大学・教育人間科学・生物 | 向山 貴幸 | (株)北開水工コンサルタント |
| 松田 幸恵 | 総合科学株式会社 | 村上 哲生 | 名古屋女子大学 |
| 松田 義徳 | 秋田県立湯沢高等学校 | 村上 哲明 | 京大・理・植物 |
| 松村 俊一 | 東北大・院・理・生物 | 村上 麻季 | |
| 松本 定 | 国立科学博物館筑波実験植物園 | 邑上 益朗 | 県立大村高等学校 |
| 松本 淳 | 福井総合植物園 | 村上 雄秀 | (財)国際生態学センター |
| 松本 史郎 | 新潟青陵高等学校 | 村瀬 忠義 | 滋賀県立琵琶湖博物館 |
| 松本 達雄 | 広島大・理・生物科学 | 村瀬 正成 | 生科学総研株式会社 |
| 松本 仁 | | 村田 和隆 | |
| 松本 雅道 | 常葉環境情報専門学校 | 村田 源 | |
| 真鍋 徹 | 北九州市立自然史・歴史博物館 | 邑田 仁 | 東京大・院・理・植物園 |
| 真山 茂樹 | 東京学芸大・生物 | 村長 昭義 | 永源寺町立山上小学校 |
| 黨 新造 | 東京大学総合研究博物館 | 村中 孝司 | 東京大・農学生命科学 |
| 丸野 勝敏 | | 村野 紀雄 | 酪農学園大・環境システム・地域環境 |
| 丸山 晃 | | 村山 雄一 | |
| 丸山 まさみ | | 室屋 瀧雄 | |
| 萬野 日出人 | | 茂垣 はるえ | |
| 三池田 修 | 東京都立北園高等学校 | 持田 誠 | 北海道大・農・植物園 |
| 三浦 励一 | 京都大・農・雑草学 | 本村 浩之 | 金沢大・薬・資源生薬 |

| 氏名 | 所属 | 氏名 | 所属 |
|--------|-----------------------|--------|---------------------|
| 桃谷 好英 | 京都インターナショナルユニバーシティ | 山中 雅也 | |
| 百原 新 | 千葉大・園芸・緑地環境 | 山根 明 | 西日本技術開発(株)環境部 |
| 森 和男 | 東アジア野生植物研究会 | 山本 明 | |
| 森 邦彦 | | 山本 和彦 | 三重県立長島高等学校 |
| 森 早苗 | 大阪市立大・理・生物 | 山本 修平 | |
| 森 康子 | | 山本 博子 | |
| 森島 充好 | 中外テクノス株式会社 | 山本 有恒 | |
| 森田 竜義 | 新潟大・教育・生物 | 山脇 和也 | 桑名高等学校 |
| 森田 弘彦 | 九州沖縄農業研究センター | 湯浅 保雄 | 静岡大学農学部 |
| 守田 益宗 | 岡山理科大学自然科学研究所 | 遊川 知久 | 国立科学博物館筑波実験植物園 |
| 森本 範正 | | 横内 茂 | 名城大・農・植物 |
| 守谷 茂樹 | | 横内 正 | |
| 守屋 忠之 | | 横川 麻子 | 大阪市立大・理・植物園 |
| 安 昌美 | | 横田 昌嗣 | 琉球大・理・海洋自然科学 |
| 安井 茂光 | 安井百華園 | 横溝 裕二 | |
| 安井 隆弥 | | 横山 亜紀子 | 山形大・理・生物 |
| 安田 恵子 | 総合地球環境学研究所西表プロジェクト研究室 | 横山 和正 | 滋賀大・教育・生物 |
| 安田 啓祐 | 埼玉大・教育・理科教育 | 横山 潤 | 東北大・院・理・生物 |
| 谷田辺 洋子 | 京都大・理・植物 | 横山 俊一 | 福井大・教育地域科学 |
| 柳沢 新一 | | 横山 正弘 | |
| 柳沢 幸夫 | 工業技術院地質調査所 | 吉井 広始 | 高崎経済大学附属高等学校 |
| 矢野 友美 | 神戸大・院・自然科学・生物 | 吉川 誠 | |
| 矢原 徹一 | 九州大・院・理・生物科学 | 吉崎 誠 | 東邦大・理・生物 |
| 矢部 淳 | 福井県立恐竜博物館 | 吉澤 和徳 | 北海道大・農・昆虫体系 |
| 山岡 和興 | | 芳澤 俊之 | 兵庫県立総合リハビリテーションセンター |
| 山川 千代美 | 滋賀県立琵琶湖博物館 | 吉田 國二 | |
| 山口 賢一 | 国土環境株式会社 | 吉田 考造 | 埼玉県立自然史博物館 |
| 山口 聡 | 愛媛大・農・生物資源 | 吉田 繁 | |
| 山口 富美夫 | 広島大・理・生物科学 | 吉田 智尚 | |
| 山口 裕文 | 大阪府立大・農学生命科学 | 吉田 文雄 | 宮ヶ瀬中学校 |
| 山口 文芳 | | 吉野 知明 | |
| 山越 真克 | | 吉野 熙道 | 岡山大・農・附属農場 |
| 山崎 旬 | 玉川大・農学・総合生物環境情報センター | 吉原 一美 | |
| 山崎 敬 | | 吉村 庸 | 高知学園短期大学 |
| 山崎 真実 | 札幌市博物館活動センター | 吉村 衛 | |
| 山路 弘樹 | (株)ツムラ 研究開発本部漢方生薬研究所 | 吉山 寛 | (財)自然史科学研究所 |
| 山下 純 | 大阪市立大・理・植物園 | 依田 清胤 | 石巻専修大・理工・基礎理学 |
| 山下 貴司 | お茶の水女子大・理・生物 | 淀江 賢一郎 | (財)ホシザキグリーン財団 |
| 山下 浩之 | | 米倉 浩司 | 東北大・理・植物園 |
| 山城 孝 | 徳島大・総合科学・自然システム | 米沢 信道 | |
| 山城 稔幸 | (株)ピー・シー・イー | 鎧 礼子 | 聖徳大・人文・児童 |
| 山城 朝美 | | 李 愚拈 | 江原大学 |
| 山住 一郎 | 大阪府教育センター | 李 鮮英 | 東京大・院・理・生物科学 |
| 山瀬 良二 | 大阪府立泉北養護学校 | 林 蘇娟 | 島根大・生物資源科学・生物科学 |
| 山田 千栄子 | 宇部市常盤公園熱帯植物館 | 若杉 孝生 | 福井県朝日町立福井総合植物園 |
| 山田 敏弘 | 国立科学博物館 | 若林 三千男 | 東京都立大・理・牧野標本館 |
| 山田 昌宏 | 大阪市立大・理・生物 | 若原 正博 | |
| 山田 幸夫 | | 脇田 悟寿 | 琉球大・教育・理科 |
| 山中 典和 | 鳥取大学乾燥地研究センター | 脇田 嘉輔 | |
| | | 脇本 進 | |

| 氏名 | 所属 |
|---------------------|---|
| 和気 俊郎 | |
| 鷺尾 和行 | |
| 和田 秀次 | (財) 広島県環境保健協会 |
| 渡辺 敦史 | 林木育種センター |
| 渡邊 温 | 株式会社 地域環境計画 |
| 渡邊 加奈 | 東京大・院・理学・生物科学 |
| 渡辺 邦秋 | 神戸大・理・生物 |
| 渡辺 健二 | 富士山ナショナル・トラスト事務局 |
| 渡邊 謙太 | 東京都立大・牧野標本館 |
| 渡辺 定路 | 福井市自然史博物館 |
| 渡邊 定元 | |
| 渡部 壽子 | |
| 渡辺 信 | 国立環境研究所 |
| 渡辺 眞之 | 国立科学博物館 |
| 渡邊 幹男 | 愛知教育大・生物 |
| 渡辺 良象 | |
| 綿野 泰行 | 千葉大・理・生物 |
| Firouzeh Javadi | 大阪府立大・院・農学生命科学 |
| Gale, Stephan W. | 高知県立牧野植物園 |
| Gretel, Geada Lobez | 愛媛大・農・森林資源生物 |
| Hakki, Madjit I. | Botanischer Garten und Botanisches Museum Berlin-Dahlem, |
| Hashimoto, Goro | Centro de Pesquisas de Historia Natural |
| Kenicer, Gregory | 東京大・院・理・植物園 |
| Shamsuardi | Herbarium Universitas Andalas |

会員消息

入会申込、住所変更、退会届、会費納入、購読
申込などは下記へご連絡ください。

〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉
東北大学大学院生命科学研究科生態システム生命
科学専攻

日本植物分類学会 横山潤（会計幹事）

Phone:/Fax: 022-217-6689

E-mail: jyokoyam@mail.tains.tohoku.ac.jp

会費：一般会員 5,000 円、学生会員 3,000 円

郵便振替 00120-9-41247

平成 16 (2004) 年 8 月 17 日印刷

平成 16 (2004) 年 8 月 25 日発行

編集兼 名古屋市千種区不老町

発行人 名古屋大学博物館

西田佐知子

発行所 東京都文京区白山 3-7-1

東京大学大学院理学系研究科附属植物園内

日本植物分類学会